

令和5年度 横浜市福祉調整委員会会議録	
日 時	令和6年3月15日(金) 午後5時～5時40分
開 催 場 所	調停委員会室(市庁舎15階北側)
出 席 者	川島 通世、小林 幸栄、下尾 直子(代表)、西村 貴直、福馬 健一、松崎 尊信 (50音順)
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者なし)
議 事	令和5年度申立て案件の振り返りについて
決 定 事 項	なし
開 会	事務局から会議及び議事録の公開について説明。傍聴人について報告。 副局長あいさつ。
議 事	(横浜市福祉調整委員会運営要綱第8条の規定により、代表委員が議長として議事を進行) (下尾代表委員) 議事進行を務めさせていただく。会議の定足数は委員数6名の過半数だが、出席者は6名全員で定足数に達しているため、これより会議に入らせていただく。 本日は、申立て案件の振り返りを議題にしているが、初めに、事務局から令和5年度の業務実績報告をいただく。 (事務局) 《資料に基づき令和5年度の業務実績報告について報告》 (下尾代表委員) 御質問、御意見はいかがか。 それでは申立案件の振り返りを行う。No. 1の事例について事務局から説明をいただく。 (事務局) 《資料に基づき事例No. 1の概要について説明》 (下尾代表委員) 御質問、御意見はいかがか。 次にNo. 2の事例について事務局から説明をいただく。 (事務局) 《資料に基づき事例No. 2の概要について説明》 (下尾代表委員) 御質問、御意見はいかがか。 その他、振り返りはいかがか。 それでは今年度の振り返りを述べさせていただく。 今年度の申立て案件は2件であった。全体の相談内容は、福祉制度やサービスの質の向上に関するものより支援の現場で起きている人間関係に係るこじれの様

	<p>なものが多かった。コロナの影響もあるとは思われるが、「こじれ」の根本的原因は、元来の福祉制度そのものの不備や運用上の問題であり、その上に現場があることを考えなければならないと思う。一般市民は制度や法律の不備があったとしても、このようなものだと考えて現行制度の中で制度を利用していくしかない。そうする中で、何かトラブルがあった場合に目の前にいる相手の資質や性格、言動の問題という苦情相談に段々と集約していってしまうのではないか。福祉現場の人間関係の狭さから始まっているものもあると思う。制度そのものを広い視点で変えていく必要があるのではないか。方策は簡単ではないが、多くの相談が来ている中でそれにどのように対峙するかということを考えると、制度や法律、サービスの運用の在り方そのもの等を考えていく時期に来ているのではないかと感じる。</p> <p>その他、振り返りはいかがか。</p> <p>(下尾代表委員) 以上で令和5年度福祉調整委員会公開会議を終了する。</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料 (1) 令和5年度横浜市福祉調整委員会 次第 (2) 令和5年度申立案件振り返り</p> <p>2 特記事項 なし</p>